



★ 次期学部長に梶浦昭友教授が決定

任期は2006年4月から2年間

11月2日開催された第812回商学部教授会で梶浦昭友教授（52歳、会計学専攻）が、次期学部長に選出されました。1951年の商学部開設以来、20人目の商学部長。

梶浦教授は、本学商学部を卒業、80年3月に同大学院商学研究科博士課程後期課程を単位取得満期退学。博士（商学）。



81年関西学院大学商学部専任講師に就任し、91年同教授。学部では「財務諸表分析」を担当、大学院では商学研究科博士課程後期課程指導教授も務められています。研究業績面では、『企業社会分析会計』（中央経済社）など著書・論文は多数に上り、学会活動では日本会計研究学会（評議員）、ディスクロージャー研究学会（副会長）、日本経営分析学会（常任理事）などで幅広く活動を展開されています。

学生への指導は徹底しており、ゼミからは毎年、会計士試験、税理士試験、公務員試験への合格者が輩出しています。剛腕（本人談：そんなはずは…）、熱血漢、そしてコンパ会場を甲子園球場内に設定するほどの熱烈なタイガースファン（本人談：阪神甲子園球場ファン。甲子園ボウルがないのは寂しい）。厳しい一方で愛情ある指導から教授を慕うゼミ OB・OG との繋がりは強く、ゼミ組織の規模、活動の充実ぶりはつとに有名です。

教授会メンバーからは「梶さん」と親しまれています。

任期は、2006年4月から2008年3月まで。

★ アドバイザリー・パネルとの協議進行中

学部の支援組織としては、全国の大学レベルでも例を見ない陣容の「商学部アドバイザリー・パネル」と学部執行部との、教育プログラムに関する協議が着々と進んでいます。

12月2日には、パネル構成員の一人である千野和利氏（阪急百貨店取締役常務執行役員）に来年度の講義実施を前提とした学術講演を行っていただいたことに続き、カネカ常務取締役兼人事部長の島 洋一氏とは社会の人材需要の動向、大広 ナレッジ開発局部長の妹尾俊之氏とは大学・学部から社会への情報発信そして連携方法について協議を続けており、その成果は今年度中にも講演会として学生諸君に伝えていく予定です。

こうしたアドバイザリー・パネルによる講演会、講義、

またゲストスピーカーとして演習や講義で提供される<ビジネスの最前線からの情報>は、志望業界や企業選択などの進路の決定にも大きな影響を与える可能性をもっています。

深山 明学部長は、「理論とスキルに加えて、現場で展開する<状況>を知ることは、商学という学問の性格からいっても非常に重要。他大学ではマネの出来ない教育プログラムを存分に活用して欲しい」と話しています。

★ 「小売業の果す使命」などをテーマに 11月・12月に学術講演会を連続して開催

商学部主催学術講演会を11月22日、12月1日、2日に連続して開催。併せて約800名の参加者がありました。

11月22日には「2005年、米国航空業界サバイバル競争—現場報告」をテーマに、International In-flight Catering社・社長の千島良樹氏を講師に迎えて開催。米国の航空業界が危機的状況にあるのは燃料費高騰、テロの影響を受けてとされるが、そうした主因の陰で見逃されている<伝統的マーケティング戦略の陳腐化>にスポットをあて、グローバル・ビジネスの典型である航空産業の問題点を浮き彫りにされました。続く12月1日の「ドコモ関西のマーケティングトライ」と題した講演では、NTTドコモ関西社長の有村正意氏が、急成長を遂げ、そして今成熟期を迎えている移動通信事業において事業拡大を図るNTTドコモ関西のビジネス戦略を披露されました。翌2日には、商学部アドバイザー・パネルの一人であり、阪急百貨店取締役常務執行役員の千野和利氏が「変化する時代の中で小売業の果す使命」をテーマに講演され、百貨店、コンビニ、ショッピングセンターなど様々な業態が主役交代を演じる小売業界の背景、個別企業としての阪急百貨店の経営戦略、そして小売業として果たすべき使命、企業理念について語られました。

★ 2006年度ゼミ（研究演習）所属の確定！

2006年度のゼミ所属が確定しました。商学部では、ゼミ（研究演習）活動を大学生生活の中心に位置づけています。第3学年に「研究演習Ⅰ」、第4学年に「研究演習Ⅱ」が履修できます。2年間にわたる専門分野のゼミ活動を通じて、“将来の夢”を実現させましょう。例年、“ゼミ選び”は、第2学年の秋学期の開始と同時に始まります。来年度、“ゼミ選び”をする1回生の皆さんは、今のうちに多くの授業に出席して、様々な学問分野があることを知っておきましょう。

★ “卒論”の締め切り迫る！

商学部での学びの集大成となる卒業論文の締め切りが、2006年1月10日（火）に迫ってきました。卒業論文は、所属するゼミ（研究演習）での研究活動の総まとめとなります。

学生時代に抱いた学問的な問題意識とこれに対する現時点での答えを、思う存分、文章で表現するものです。20年後、30年後に振り返っても、後悔のないようにしたいものです。4回生の皆さん、残り一月です。全力で頑張りましょう！

八塩圭子氏（フリーアナウンサー）ら9名

★ 2006年度商学部新任教員紹介

2006年4月から、以下の方々を新任教員として商学部に迎えます。

和田充夫（わだ・みつお）氏

「マーケティング・マネジメント」担当 教授

慶應義塾大学経済学部卒業、ミシガン州立大学大学院で MBA 経営学修士号、ペンシルバニア州立大学大学院で Ph.D 経営学博士号を取得。味の素株式会社を経た後、77年慶應義塾大学ビジネススクール専任講師、現在慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授。『ブランド価値共創』（同文館出版）など著書・論文多数。

石原武政（いしはら・たけまさ）氏

「流通システム論」担当 教授

兵庫県立神戸商科大学卒業、神戸大学大学院経営学研究科商学専攻博士課程退学。博士（商学）。

69年大阪市立大学商学部助手、現在、大阪市立大学大学院経営学研究科教授。この間、商学部長を始め学術情報総合センター所長など要職を歴任する。『商業組織の内部編成』（千倉書房）、『まちづくりの中の小売業』（有斐閣）など著書・論文多数。

榊原茂樹（さかきばら・しげき）氏

「経営財務論」担当 教授

神戸大学経営学部卒業、同大学院経営学研究科修士課程修了。博士（経営学）。住友化学工業を経て、72年神戸大学経営学部助手、現在、神戸大学大学院経営学研究科教授。この間、経営学研究科研究科長・経営学部長などの要職を務める。『現代財務理論』（千倉書房）など著書・論文多数。

八塩圭子（やしお・けいこ）氏

「マーケティング・コミュニケーション」担当 助教授

上智大学法学部卒業、法政大学大学院社会科学研究科経営学専攻マーケティングコース修士課程修了。修士（経営学）。テレビ東京で経済部記者兼番組ディレクター、アナウンサーとして10年間活躍した後退社、フリーアナウンサーに。以後「出没！ アド街ッ天国」などの人気番組を手がけ、現在は、フジテレビの「めざましどようび」のメインキャスターのほか、ラジオのパーソナリティを勤める。また、『LEE』（集英社）、『日経キャリアマガジン』（日経 BP）などの雑誌で多数の連載も担当し、マルチタレントとして支持を得ている。著書に『女性アナウンサーという生き方』（日経 BP）など。

石淵順也（いしぶち・じゅんや）氏

「マーケティング・リサーチ」担当 助教授

関西学院大学商学部卒業、同大学院商学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学。博士（商学）。98年福岡大学商学部専任講師、現在は同助教授。著書に『グローバル流通の国際比較』（有斐閣）など著書・論文多数。



八塩先生より

しっかりと”伝える”ために、コミュニケーションとメディアの重要性をみんなで考えましょうね！

清水正雄（しみず・まさお）氏

「簿記基礎」担当 助教授

関西大学経済学部経済学科卒業、大阪市立鶴見商業高等学校教諭などを経て、現在、全国商業高等学校協会簿記検定試験大阪府本部主任。著書に『大阪の高校における簿記会計教育』（大阪府簿記会計学協会）など著書・論文多数。

安田聡子（やすだ・さとこ）氏

「国際経営論」担当 専任講師

上智大学文学部卒業、東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。博士（学術）。FM長崎等を経て、04年東京大学先端科学技術センター特任助手、現在に至る。『海外進出企業における競争優位生産技術基盤の研究』（日本労務学会）など論文多数。

伊藤正範（いとう・まさのり）氏

「英語」担当 専任講師

東北大学文学部卒業、東北大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学。博士（文学）。01年釧路公立大学経済学部専任講師、現在、同助教授。『途絶える血脈、途切れる語り―“The Idiots”における進化論言説とモダニズム』など論文多数。

禪野美帆（ぜんの・みほ）氏

「スペイン語」担当 専任講師

神奈川大学外国語学部スペイン語科、東京外国語大学大学院地域文化専攻博士課程後期課程単位取得満期退学。博士（文化人類学）。『メキシコ市内旧住村民村落における「地元民」と外来者の関係』（共著 神戸市外国語大学外国学研究所）など著書・論文多数。

【訂正】本紙第3号において、林 隆敏教授の留学（2005年9月～2006年8月）先を、カナダ・ウォータールー大学と報じましたがカナダ・トロント大学の間違いですので、訂正します。

冬のチャペル

クリスマス

クリスマス前の約1カ月はアドヴェント（待降節）と呼ばれ、クリスマスへの備えをする時期とされています。ツリーなどの飾りつけも、本来はこの時に始められるものです。時計台前の大きな2本のツリーは、11月28日夕方に点灯されました。学内でもあちらこちらに飾りが見られます。



商学部では9年ほど前から、本館1階にツリーを飾るようになりました。学内ではツリーの「老舗」です。夕方になると、建物の外からもツリーの電飾が綺麗に見えるので、学内でも広く知られた存在になっています。今年は久しぶりにツリーを新調。2メートルを超える大きなツリーを新たに置き、飾りや電球の数も大幅に増やしました。

クリスマス行事への参加もお勧めします。

全学合同のチャペル（12月12日）が開催されたほか、商学部でもクリスマスをテーマにしたチャペルを行います。今年は特に、グリーンクラブによるクリスマス音楽チャペル（12月21日）を開催。ホームページや廊下の掲示でご案内しています。（辻 学 宗教主事）